

二十歳になった君たちの 輝かしい未来に乾杯

1月12日、新成人を祝う第67回芦屋町成人式が町民会館で行われ、町内外から154人が出席しました。中学校卒業以来の再会という人や遠方から帰郷し、成人式を楽しみにしていたという人などが、互いの成長した姿に笑顔いっぱい喜び合っていました。今年度、新成人となったのは、平成11年4月2日から12年4月1日までに誕生した皆さんです。

式典で波多野町長は、昨年、日本中を感動の渦に巻き込んだラグビーワールドカップで活躍した日本代表選手の理念などを例に挙げながら新成人へ期待を込めた式辞を述べました。

「彼らは、自分たちの存在意義を明らかにし、目的と目標を導き出した結果が多くの日本人の心に響かせることができました。目標は到達点であり、目的はその目標をやる理由です。新成人の皆さんも、自分の中で目標を達成する目的が明確になっていけば、目標の達成率も上がり、壁にぶつかったときや目標を見失いそうなときに、目的に立ち返ることで情熱を取り戻すことができます」と話していました。

式典後の新成人の集いでは、小中学校の恩師10人が登壇し、新成人たちの成長した姿へ多くの祝福の言葉が贈られました。



祝 芦屋町成人式





吉行豊輝さん

プロサッカー選手を目指して北海道の大学で頑張っています。いい経験を積ませてもらっています。芦屋町は地域の皆さんが優しいと感じます。新大人になって、大人の階段を上った気分です。



鷺尾実玖さん

スポーツトレーナーを目指して勉強に励んでいます。資格をたくさん取りたいです。芦屋町の好きなのは、落ち着くところです。成人したので、人として責任ある行動をとります。



柳拓真さん

親の仕事を追いかけて消防士を目指しています。今は、大学の部活を一生懸命やって、目的に向かって体を鍛えています。マリントラスのお風呂が落ち着くので大好きです。



井原雨音さん

働いてお金をためています。そして、いろいろなところに旅行をしたいです。芦屋町は海が近くて、花火大会もあっていいと思います。大人の仲間入りしたので、大人っぽになりたいです。

